



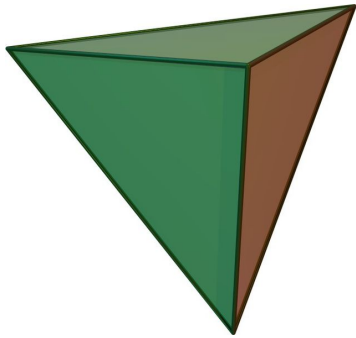
# 4次元多面体から空間のかたちをみる — 4次元の図形を見よう

河野 俊丈

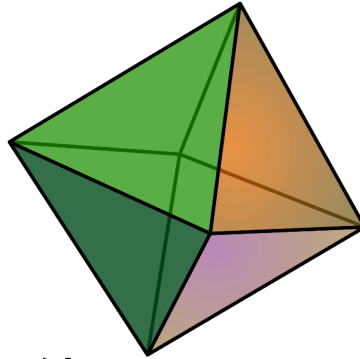
2016年6月30日

学術俯瞰講義「図形から広がる数理科学」

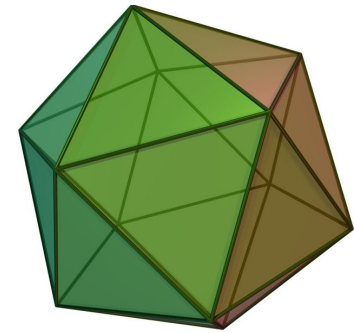
# 3次元空間の正多面体



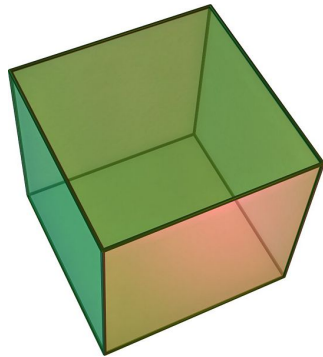
正4面体



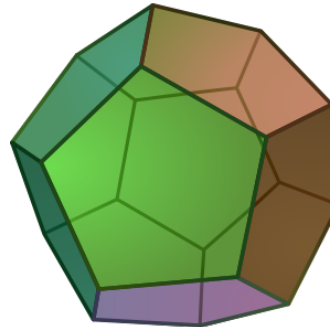
正8面体



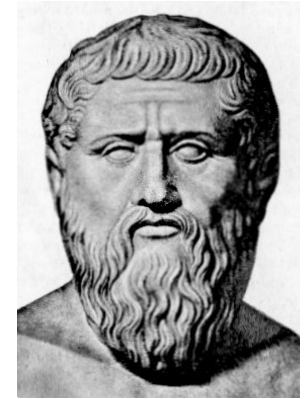
正20面体



立方体

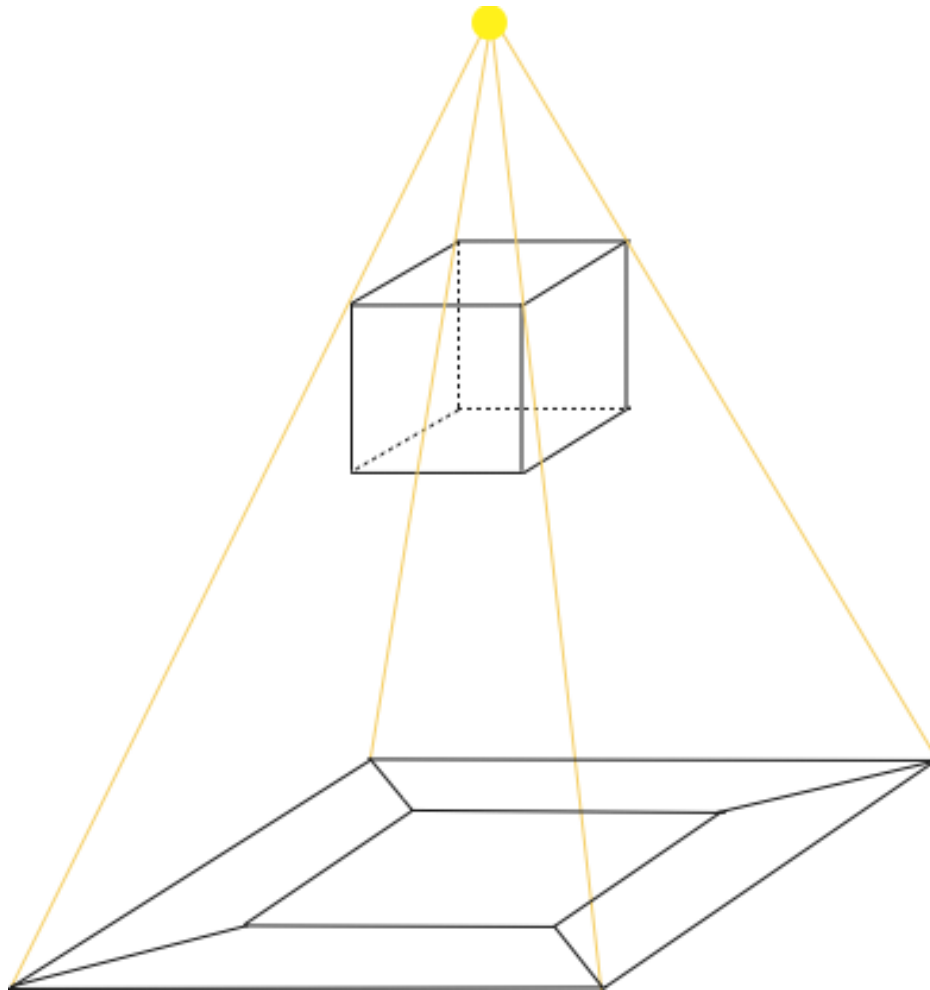


正12面体



Plato

# 立方体の射影



1点から発する光  
による射影.

立方体の1つの面  
を取り除いてそこ  
から内部を眺めた  
像が得られる.

# 正多面体の射影

1つの面を水平面と平行におき点光源からの光で射影する.

正4面体



正12面体



立方体



正8面体



正20面体



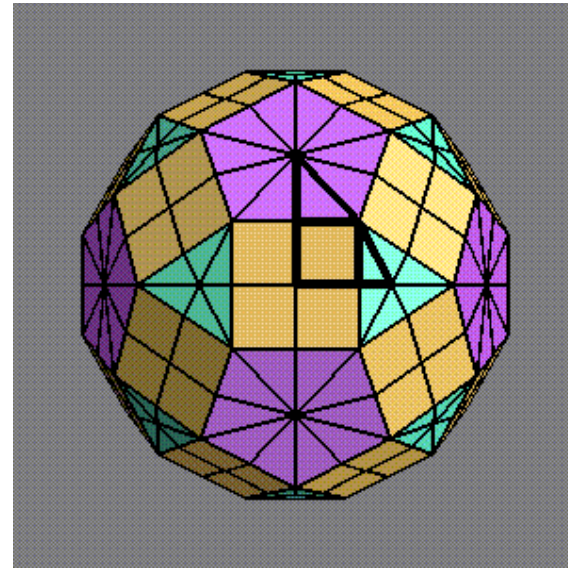
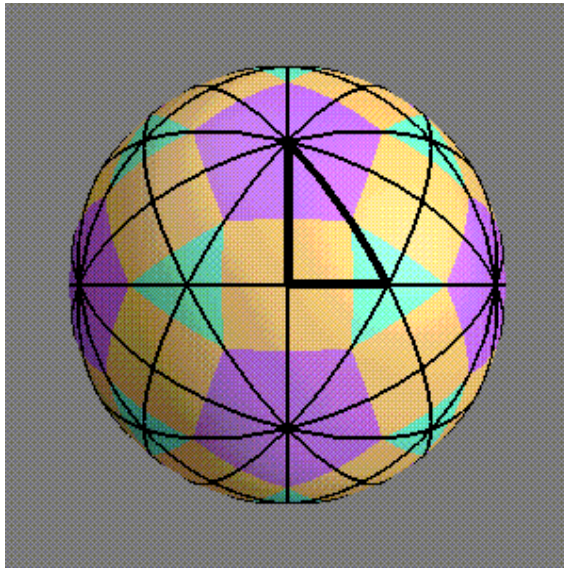
シュレーゲル図式



**正多面体は球面の正多角形による正則分割をさだめる。**

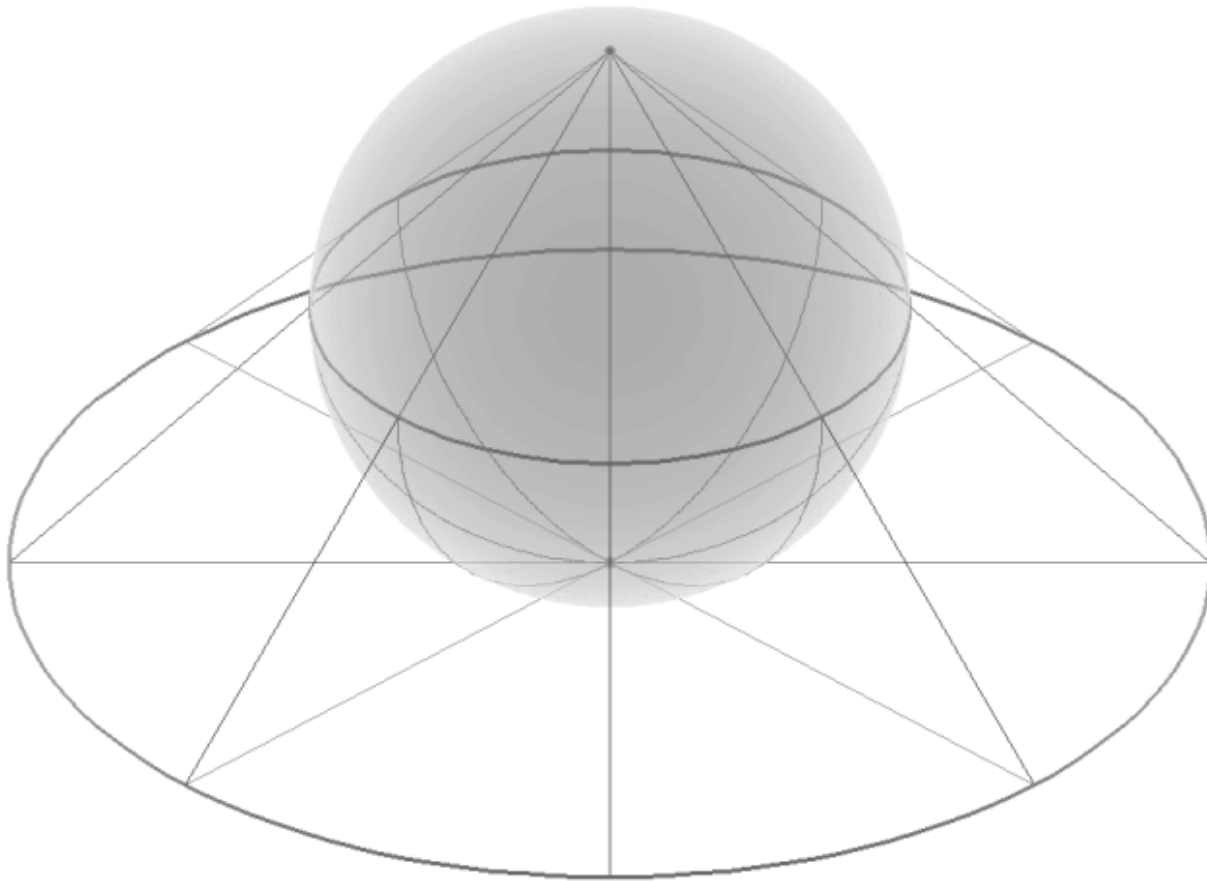
# 球面の正則分割

合同な正多角形が各頂点のまわりに同じ個数集まっている.



上の図には正3角形, 正5角形による正則分割  
(タイルばり)が含まれる.

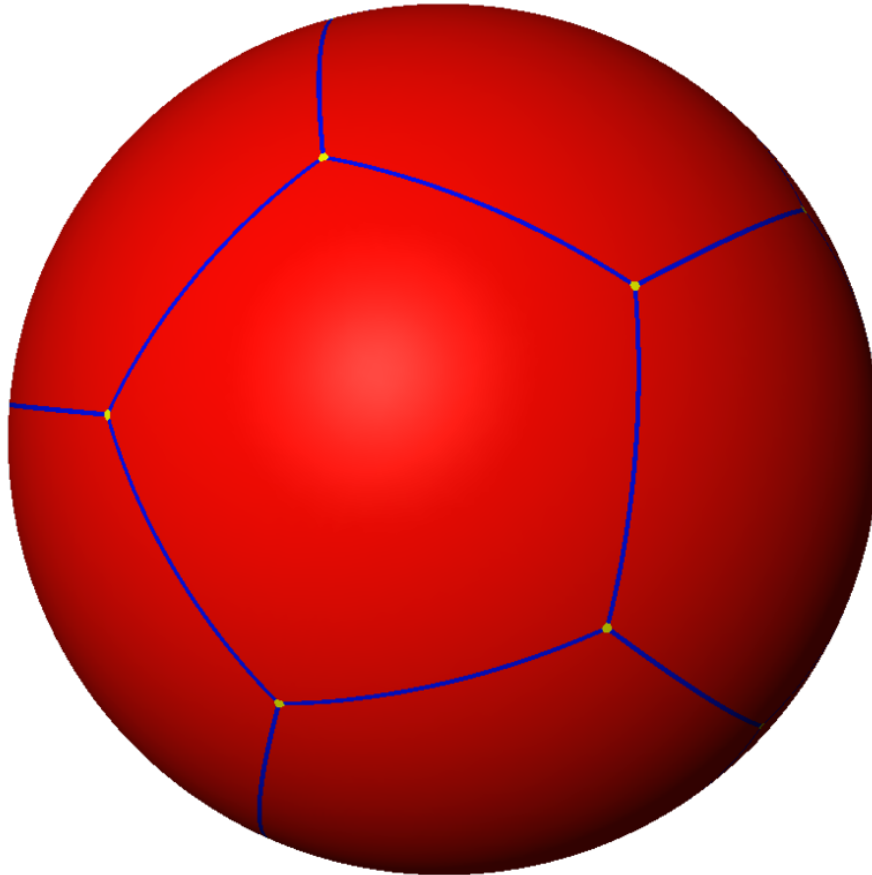
# 球面の立体射影



球面の北極点  
以外の点は平面  
と1対1に対応

球面は平面に  
無限遠点をつけ  
加えたものとみな  
せる。

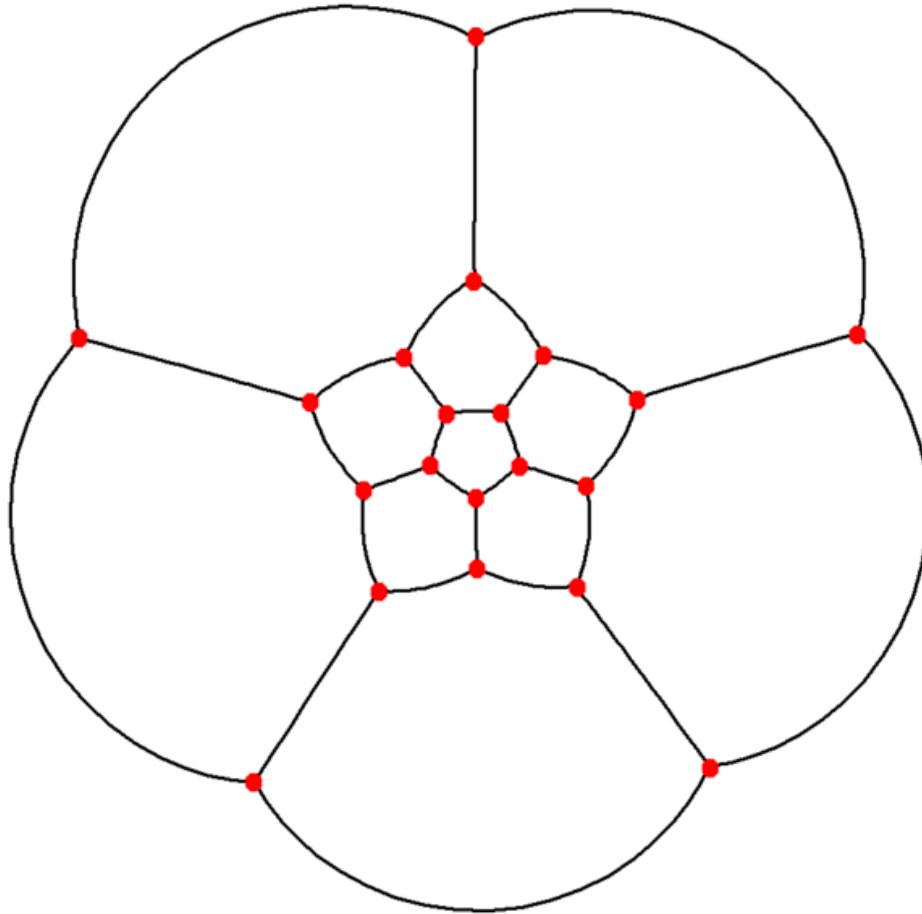
# 球面上の正12面体



辺は大円の弧  
正5角形の内角は $120^\circ$



# 正12面体の立体射影

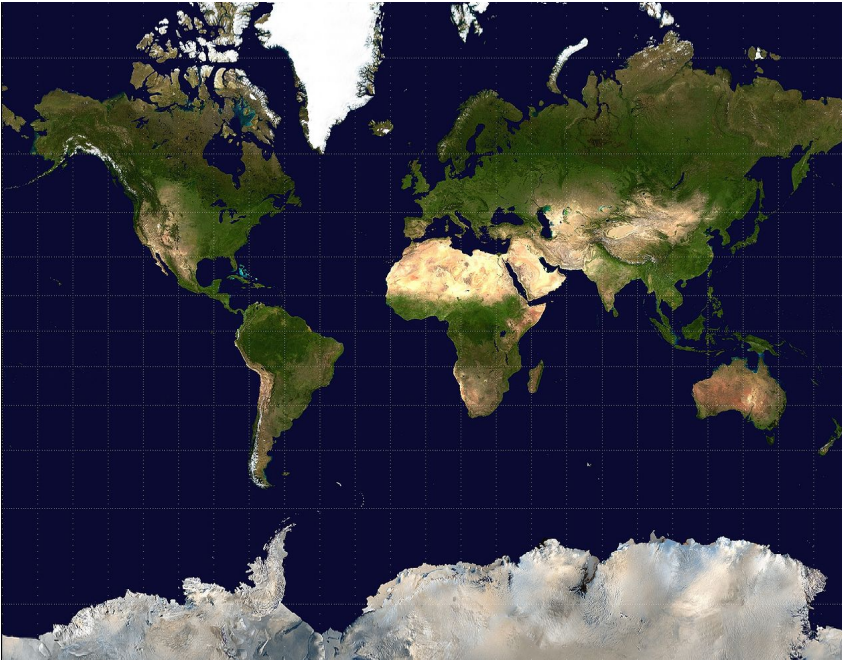


平面の12個の領域  
への分割.

外側の領域も無限遠点  
を加えて, 正12面体の  
1つの面に対応.

射影によって角度は  
保たれる.

# メルカトル図法による地図



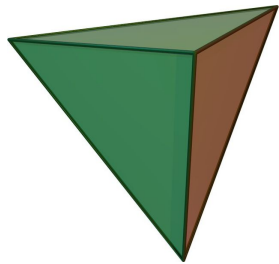
1569年にメルカトルが作成した地図

メルカトル図法では場所によって縮尺が異なるが  
角度は正確に表現される。

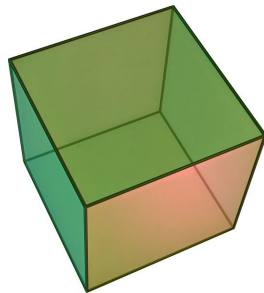
# シュレフリー記号

$\{n\}$  正  $n$  角形

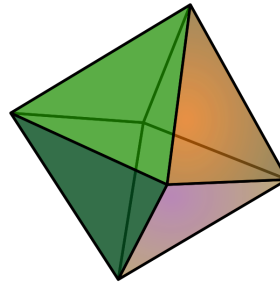
$\{p, q\}$  正多角形  $\{p\}$  がそれぞれの頂点のまわりに  $q$  個集まる.



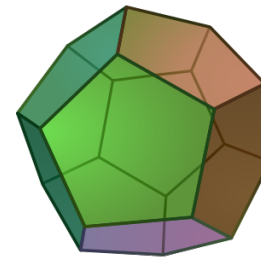
$\{3, 3\}$



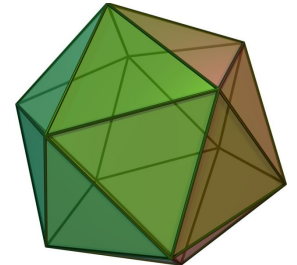
$\{4, 3\}$



$\{3, 4\}$

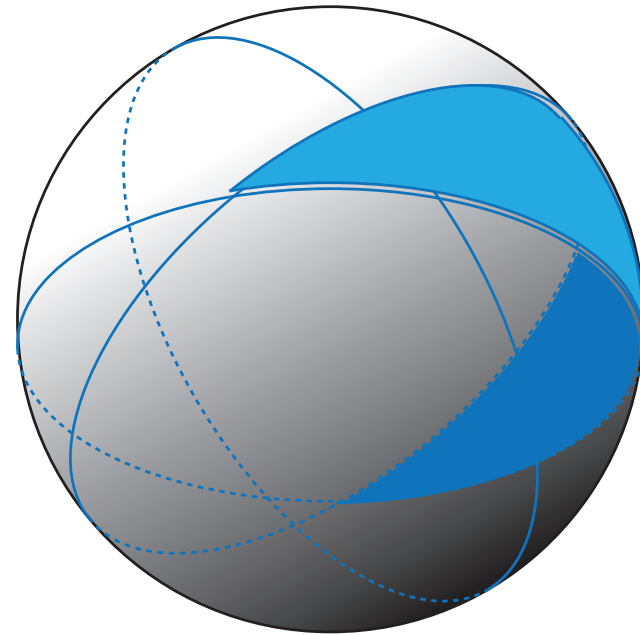
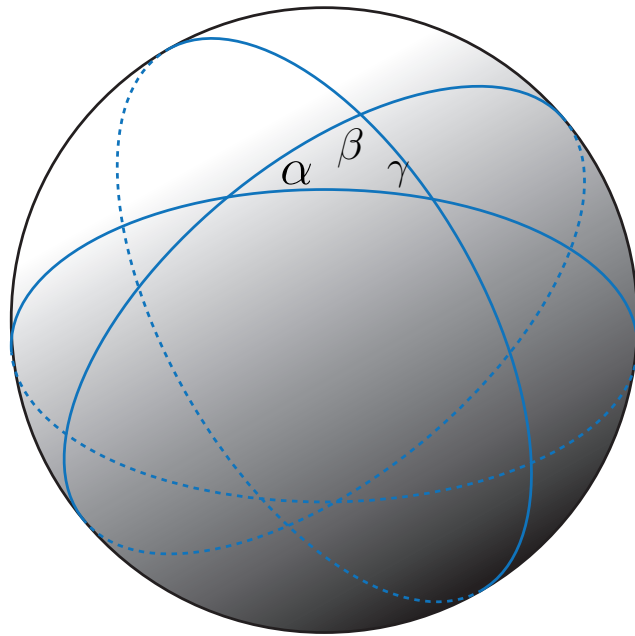


$\{5, 3\}$



$\{3, 5\}$

# 単位球面上の三角形



$L(\alpha)$

球面三角形の面積

$$A = \alpha + \beta + \gamma - \pi$$

右の青く塗った部分の面積は  $2\alpha$

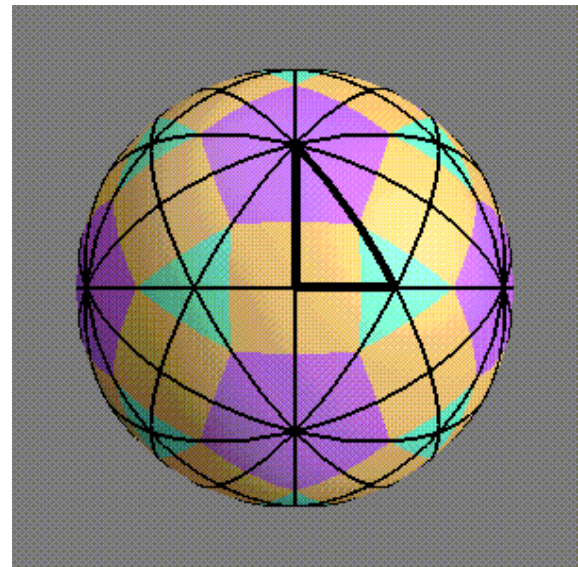
$$\alpha + \beta + \gamma > \pi$$

## 球面の正則分割

シュレフリー記号  $\{p, q\}$  で表される球面の正則分割（タイルばり）が存在するとき，球面上に内角  $\pi/p, \pi/q, \pi/2$  の三角形が描かれる。

$$\frac{\pi}{p} + \frac{\pi}{q} + \frac{\pi}{2} - \pi > 0 \text{ より}$$

$$\frac{1}{p} + \frac{1}{q} > \frac{1}{2}$$



$$\frac{1}{p} + \frac{1}{q} > \frac{1}{2}$$

上の不等式を満たす2以上の整数 (p, q)の組

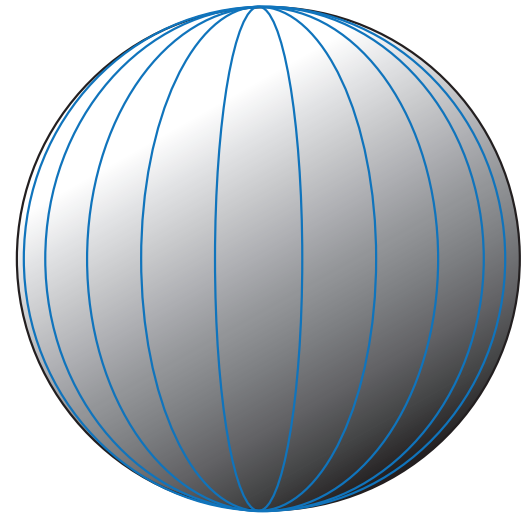
正多面体のシュレフリー記号

{p, q}

{3, 3}, {4, 3}, {3, 4}, {5, 3}, {3, 5}

および

{2, n}, {n, 2}, nは2以上の整数



## タイプ $\{p, q\}$ のタイルばり

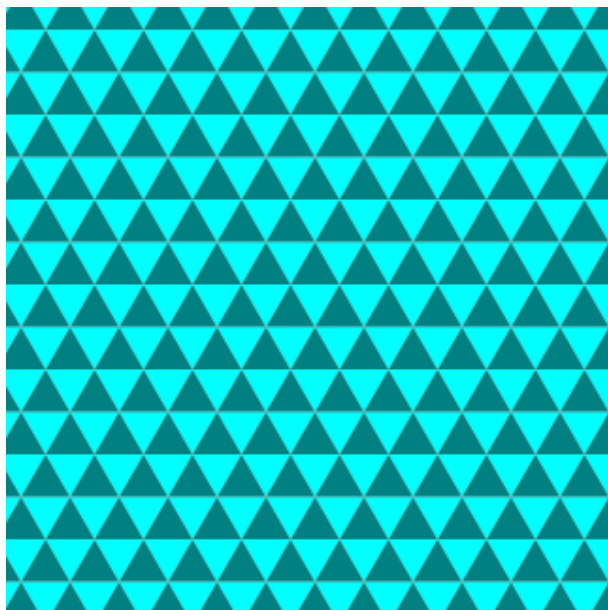
ユークリッド平面

$$\frac{1}{p} + \frac{1}{q} = \frac{1}{2}$$

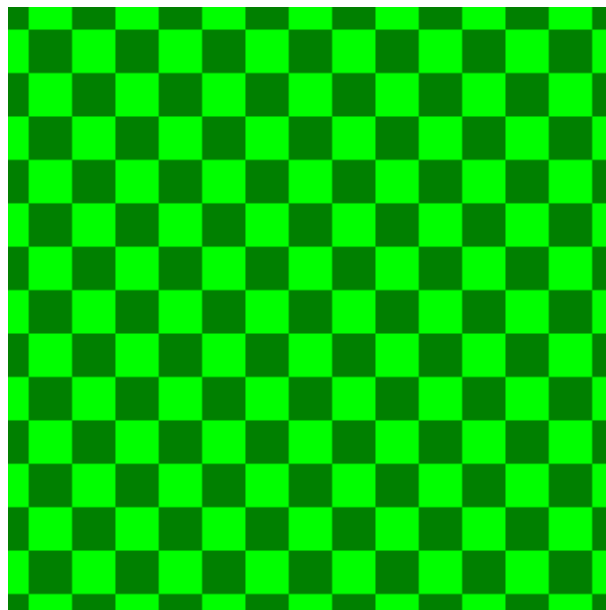
球面

$$\frac{1}{p} + \frac{1}{q} > \frac{1}{2}$$

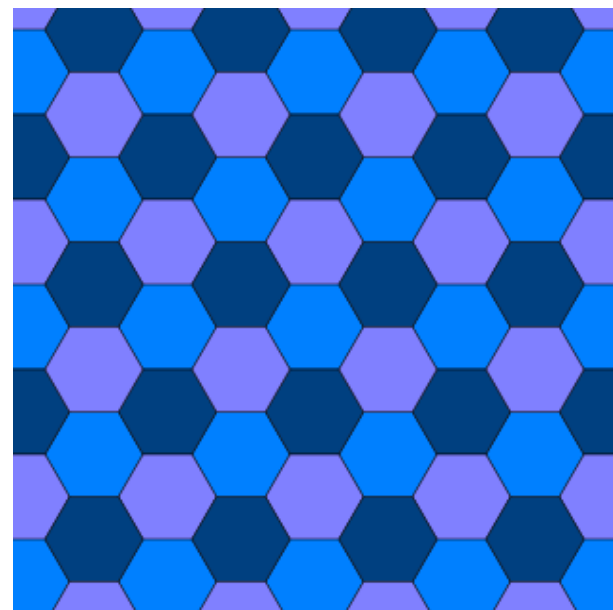
# ユークリッド平面の正則分割 (タイルばり)



$\{3, 6\}$



$\{4, 4\}$



$\{6, 3\}$



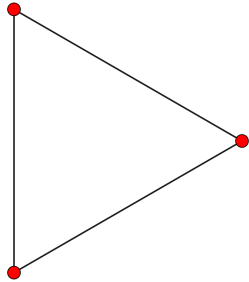


# 4次元空間の正多面体

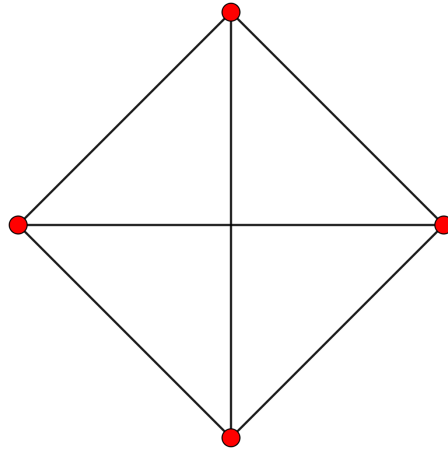
# 4次元の図形



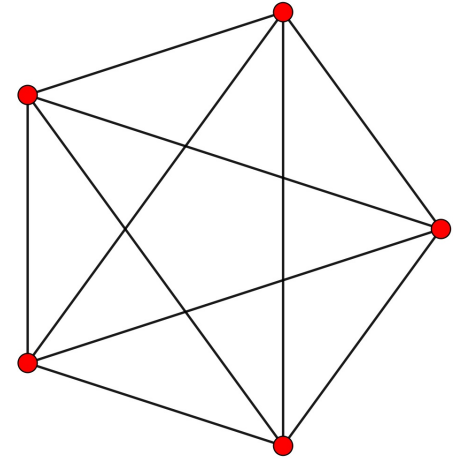
1次元  
線分



2次元  
正3角形

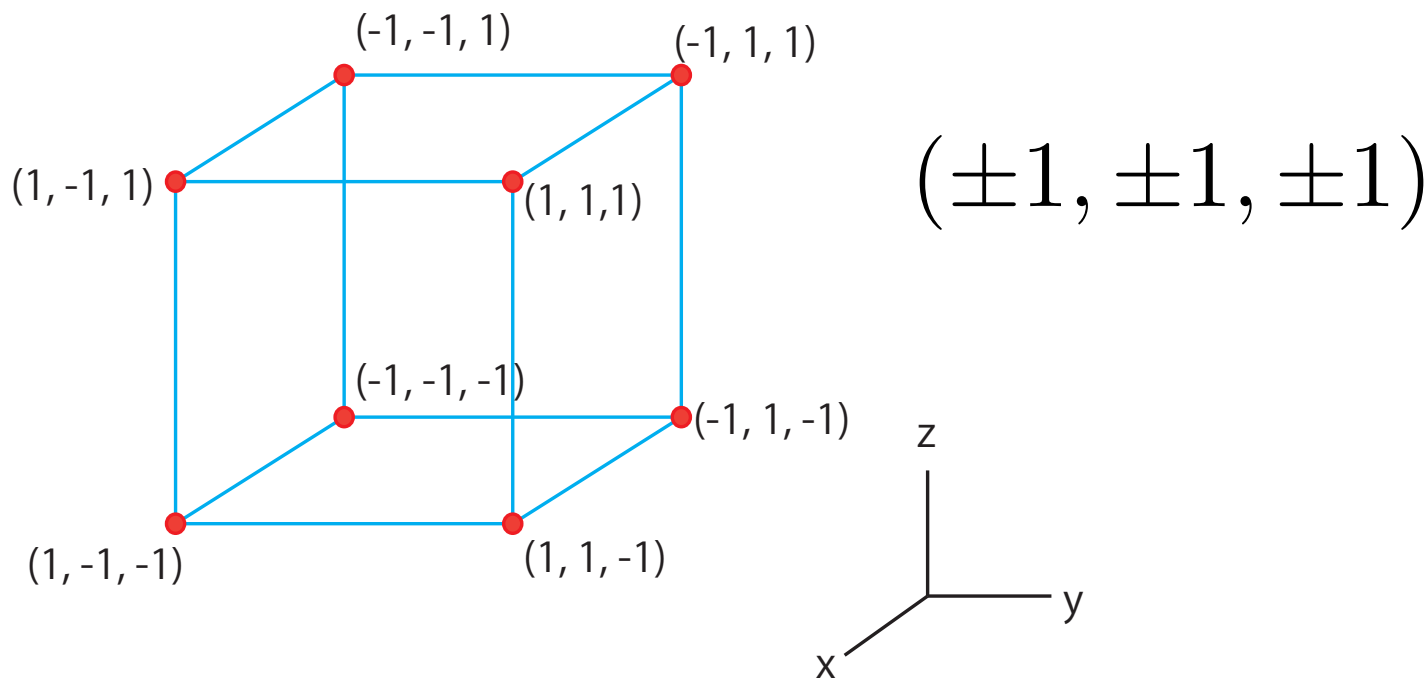


3次元  
正4面体



4次元の図形の影？

# 立方体の頂点を3次元ユークリッド空間の座標で表す



頂点の座標として  $(1, 1, 1)$  および座標の符号を変えた8個がとれる.

# 4次元ユークリッド空間

4つの実数の組み  $(a, b, c, d)$  を座標に持つ  
数ベクトル空間

2点間の距離を次のように測る.

$P(x_1, x_2, x_3, x_4), Q(y_1, y_2, y_3, y_4)$  の距離を

$$\sqrt{\sum_{i=1}^4 (x_i - y_i)^2}$$

で定める.

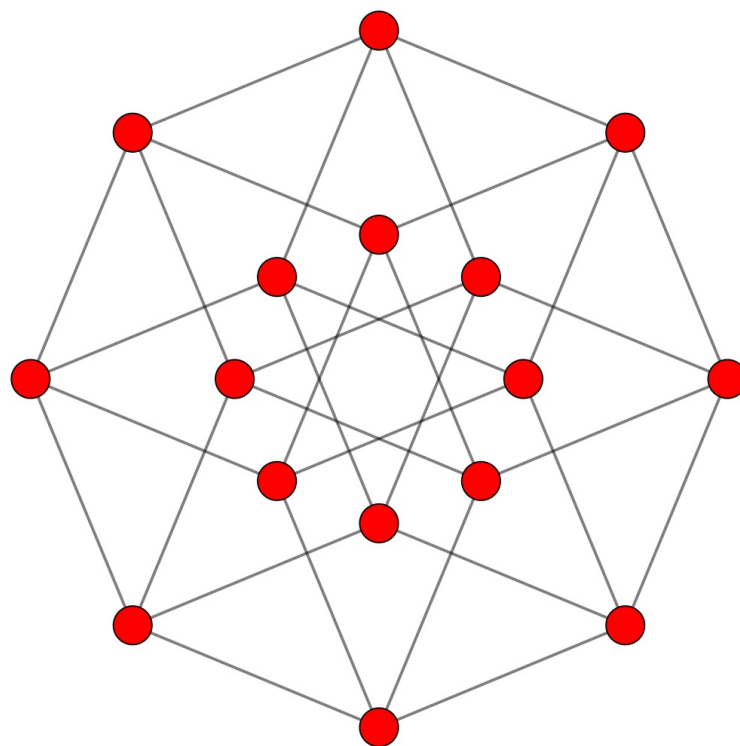
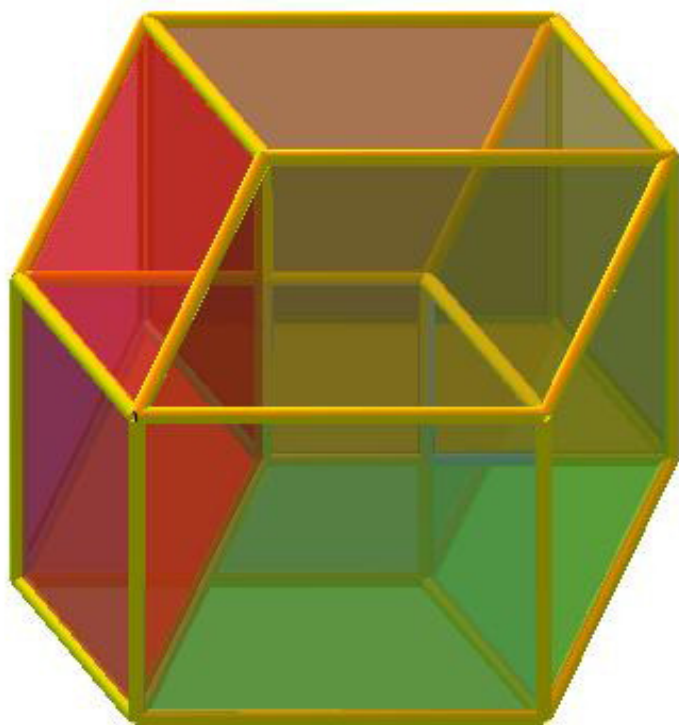
# 4次元空間の立方体 hypercube

4次元ユークリッド空間で  
(1, 1, 1, 1) および座標の符号を変えた16個の点を  
頂点にもつ.

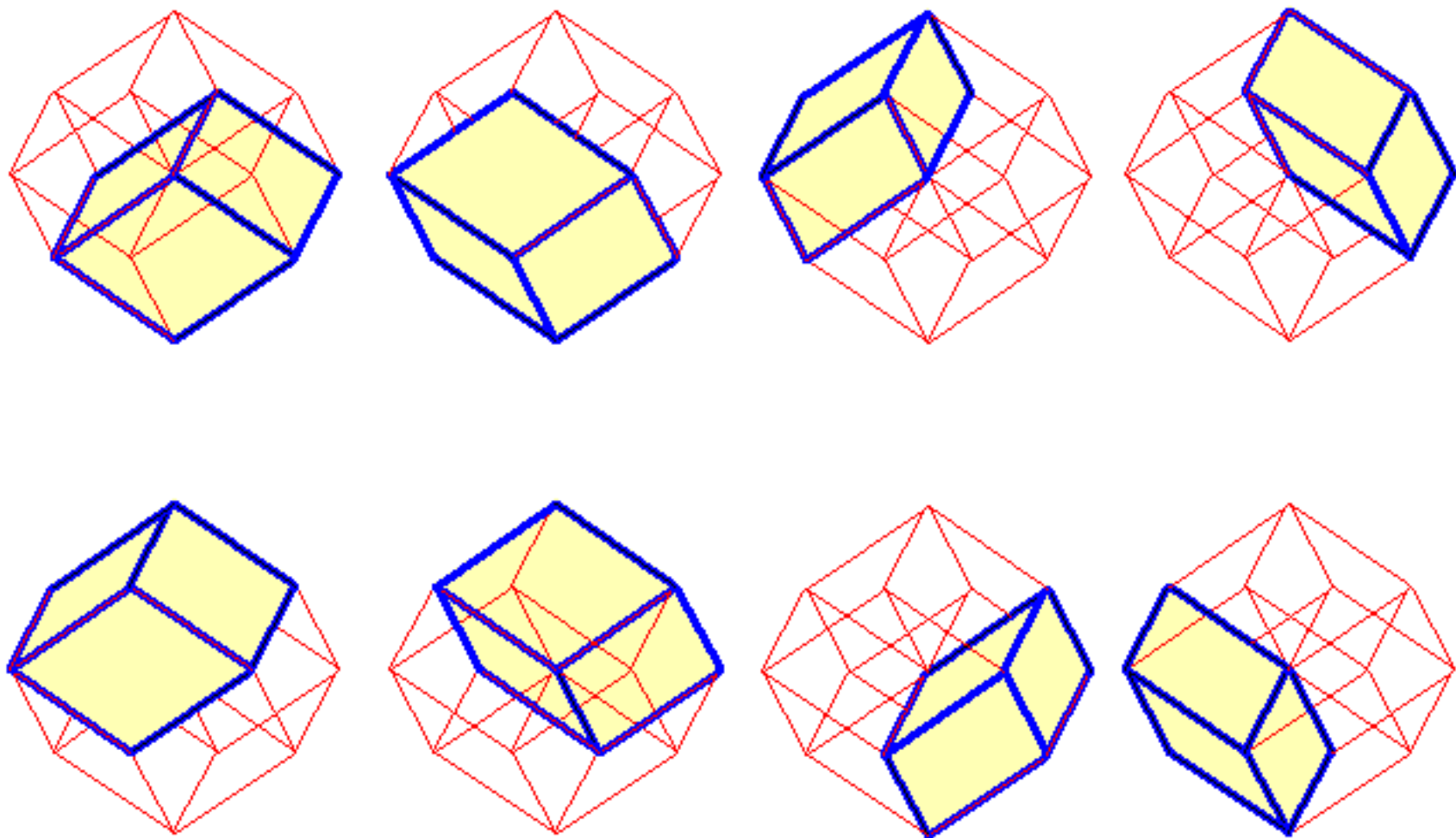
頂点の座標

$(\pm 1, \pm 1, \pm 1, \pm 1)$

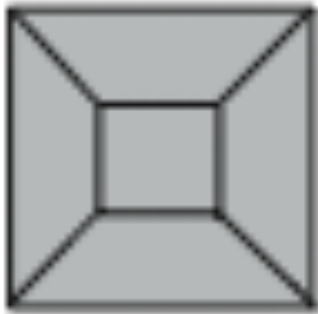
# 4次元立方体の射影図



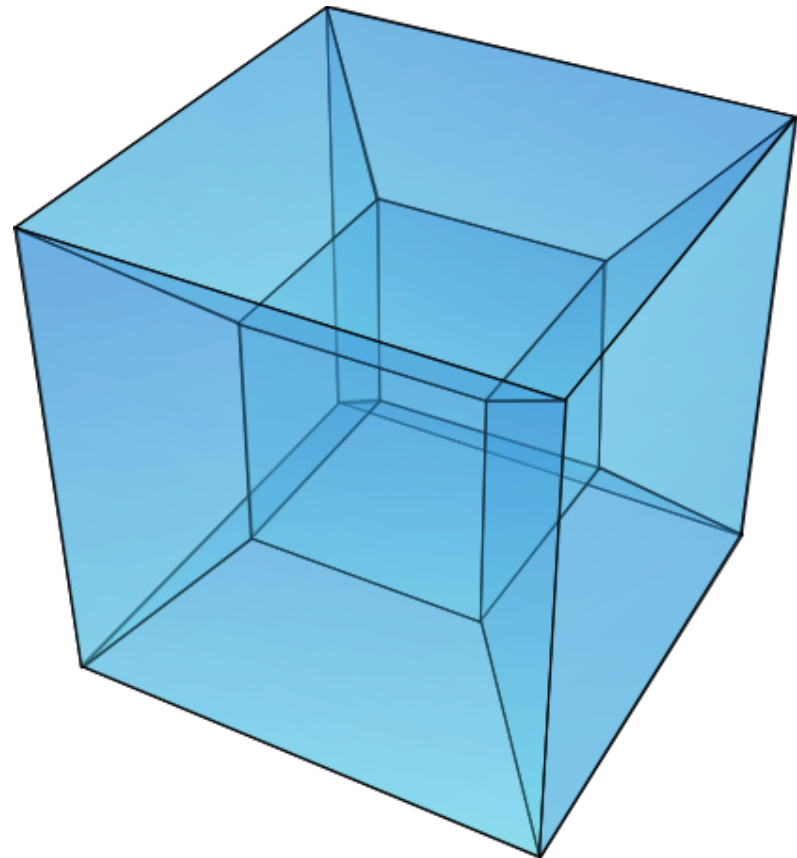
# 4次元立方体に含まれる8個の立方体



# 4次元立方体のシュレーゲル図式



立方体の射影図



0-セル(頂点)	16
1-セル(辺)	32
2-セル(面)	24
3-セル	8

Hypercubeの回転

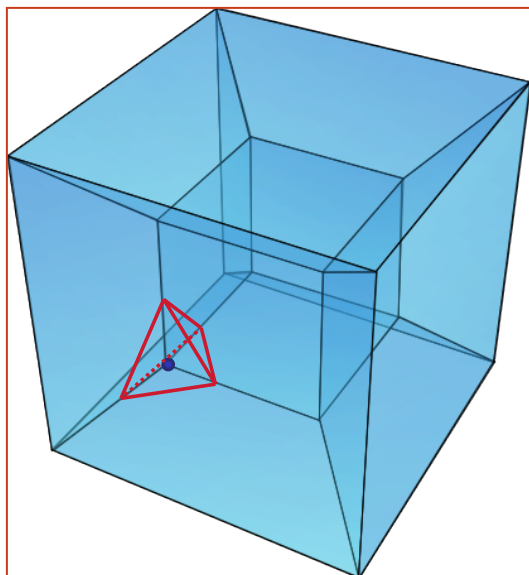


# 4次元空間の正多胞体のシュレフリー記号

シュレフリー記号  $\{p, q, r\}$

正多面体  $\{p, q\}$  が辺のまわりに  $r$  個集まる.

各頂点のまわりの切り口のタイプが  $\{q, r\}$ .



3次元空間の分割: 正多胞体

正8胞体 (hypercube)

$\{4, 3, 3\}$

シュレフリー記号  $\{p, q, r\}$  で表される4次元正多胞体が存在するための必要条件

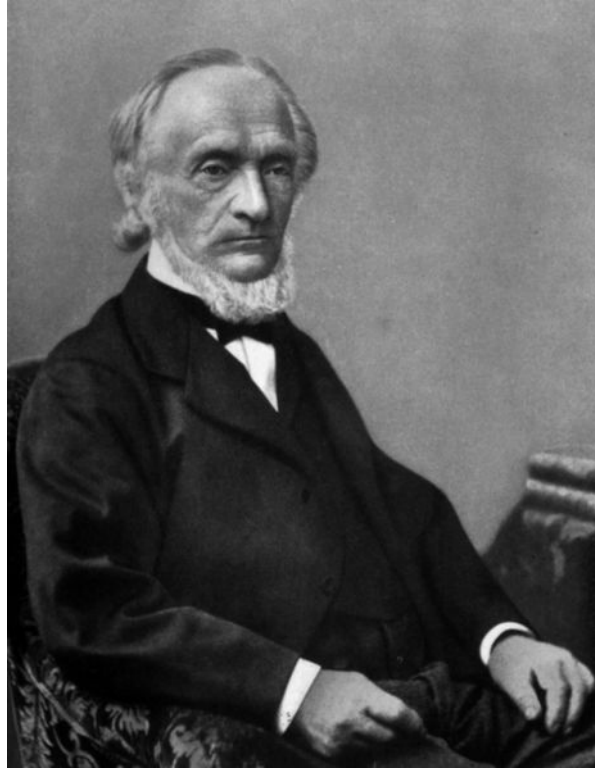
$$\sin \frac{\pi}{p} \sin \frac{\pi}{r} > \cos \frac{\pi}{q}$$

この不等式の導出については次回説明する.

## 4次元空間の正多胞体(regular polytope)の分類

	シュレフリー記号	3-セル	頂点数
正5胞体	$\{3, 3, 3\}$	正4面体	5
正8胞体	$\{4, 3, 3\}$	立方体	16
正16胞体	$\{3, 3, 4\}$	正4面体	8
正24胞体	$\{3, 4, 3\}$	正8面体	24
正120胞体	$\{5, 3, 3\}$	正12面体	600
正600胞体	$\{3, 3, 5\}$	正4面体	120

シュレフリーにより19世紀半ばに示された。



# Ludwig Schläfli (1814 - 1895)

Theorie der vielfachen  
Kontinuität 1850 - 52

Riemann : *Hypothesen welche der  
Geometrie zu Grunde liegen* 1854

# 正16胞体

## 正8面体の4次元版

3次元ユークリッド空間の  
正8面体として頂点の座標を

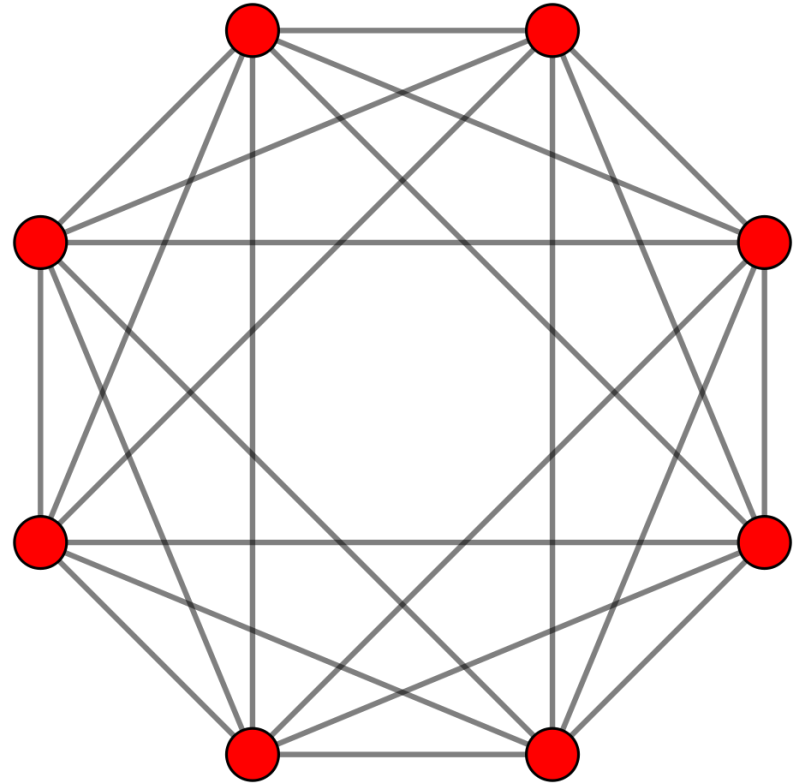
$$(\pm 2, 0, 0)$$

およびこれらの座標の入れ替  
えからなる6点をとる.

4次元ユークリッド空間で  
頂点の座標を

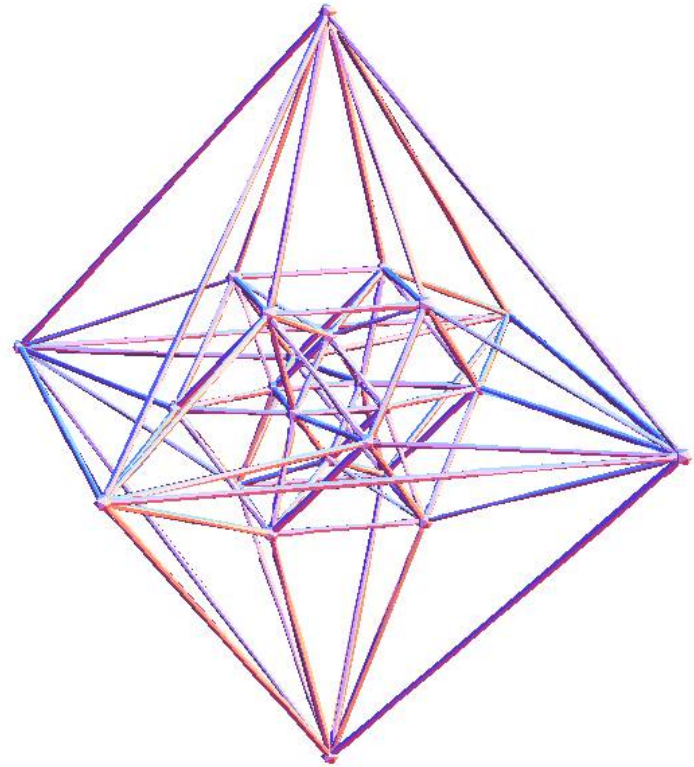
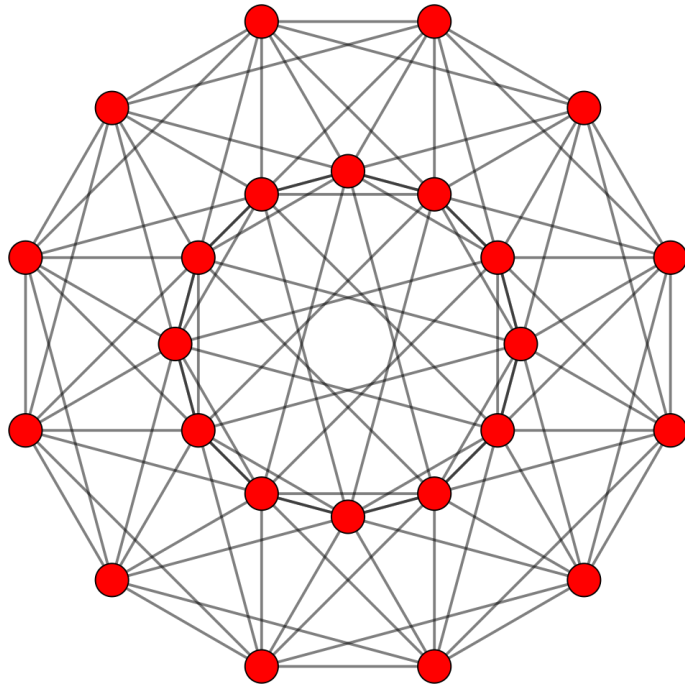
$$(\pm 2, 0, 0, 0)$$

およびこれらの座標の入れ替  
えからなる8点をとる.



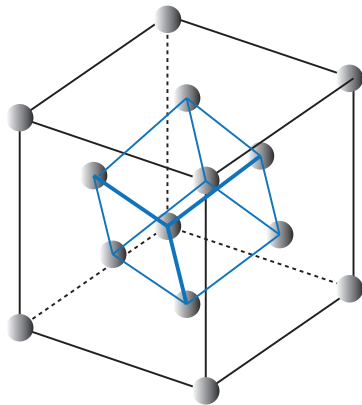
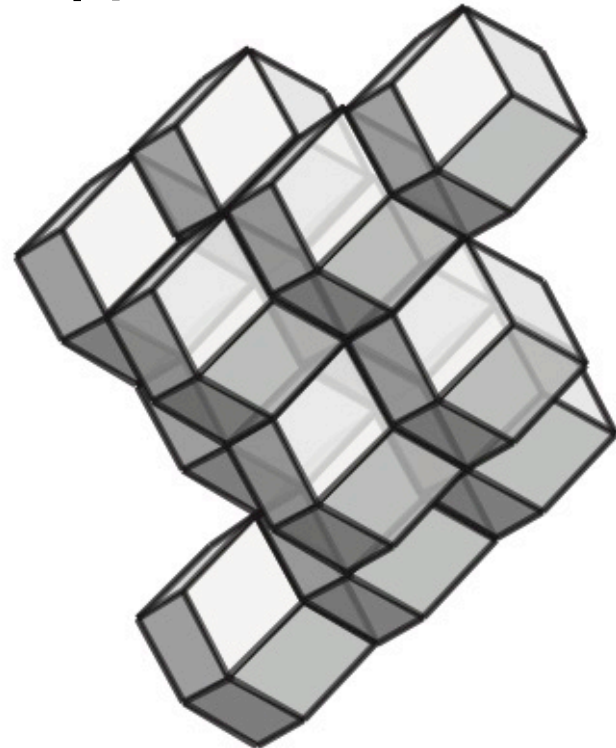
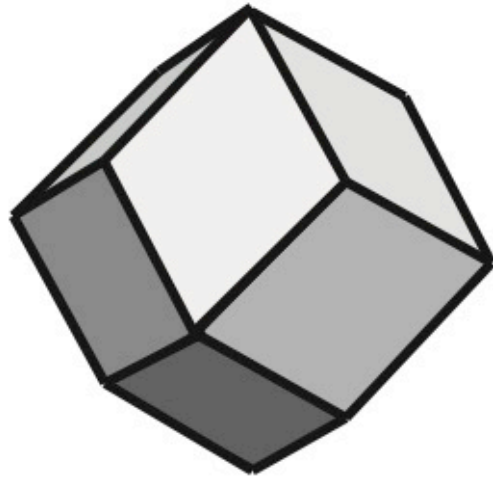
正16胞体の射影図

# 正24胞体



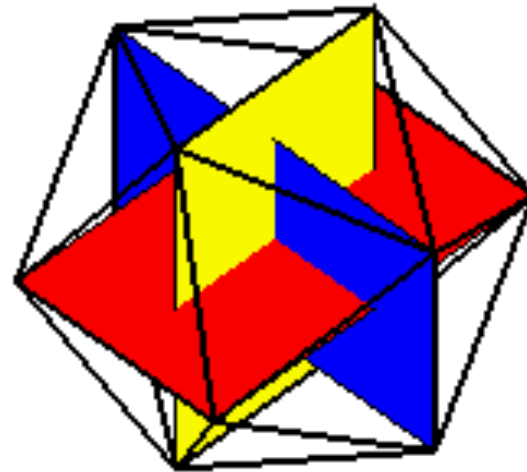
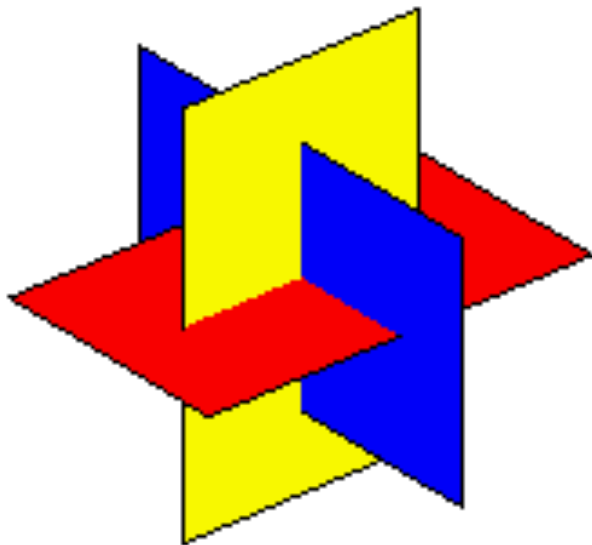
正8胞体 (hypercube) と正16胞体の頂点をこれまでのように4次元ユークリッド空間にとり, それらの和集合を頂点にとる. 3次元の正多面体には対応物がない.

# 菱形12面体



3次元ユークリッド空間で立方体と正8面体から同様の構成をすると菱形12面体が得られる. これは面心立方格子のディリクレ領域であり, 空間を埋め尽くす多面体.  
(坪井先生の3回目の講義を参照)

# 3次元空間に正20面体の頂点をとる



黄金比  $\tau = \frac{1+\sqrt{5}}{2}$

縦横比が黄金比であるような  
長方形3枚を上図のように  
組み合わせる.

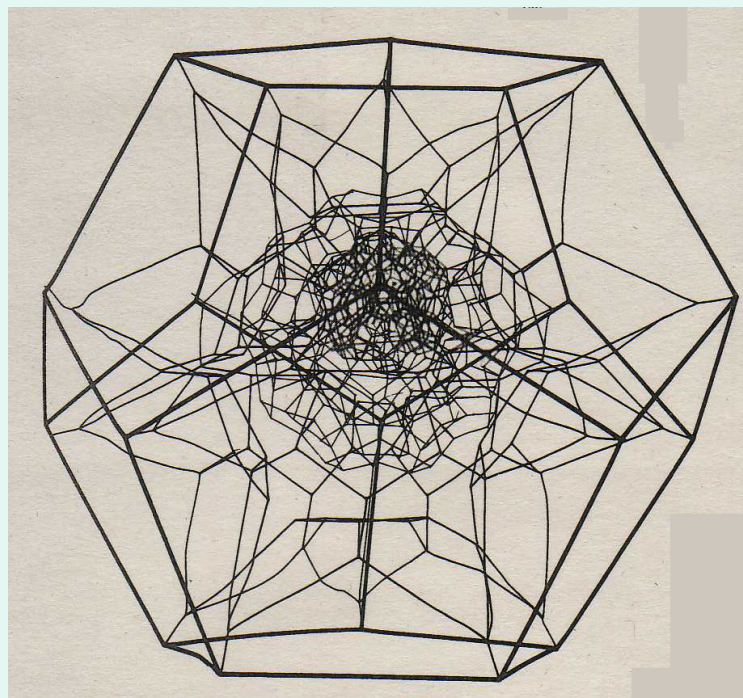


正20面体の頂点の座標として  
 $(\pm 1, \pm \tau, 0)$

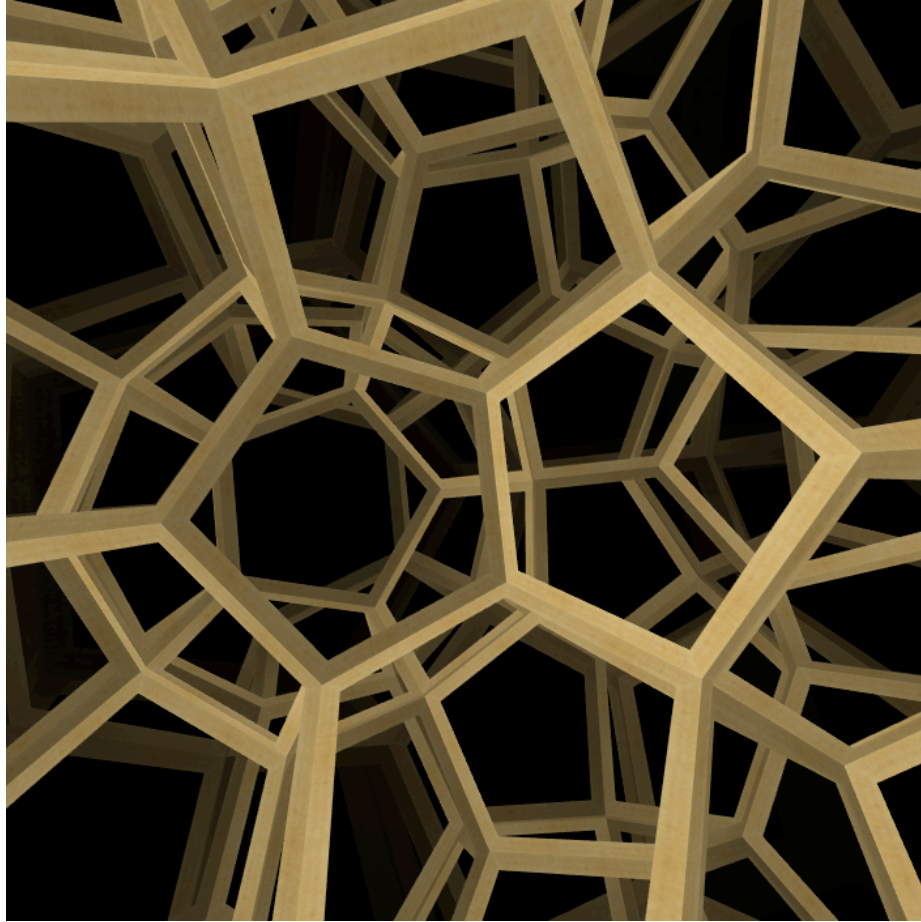
およびこれらの入れ替えがとれる.



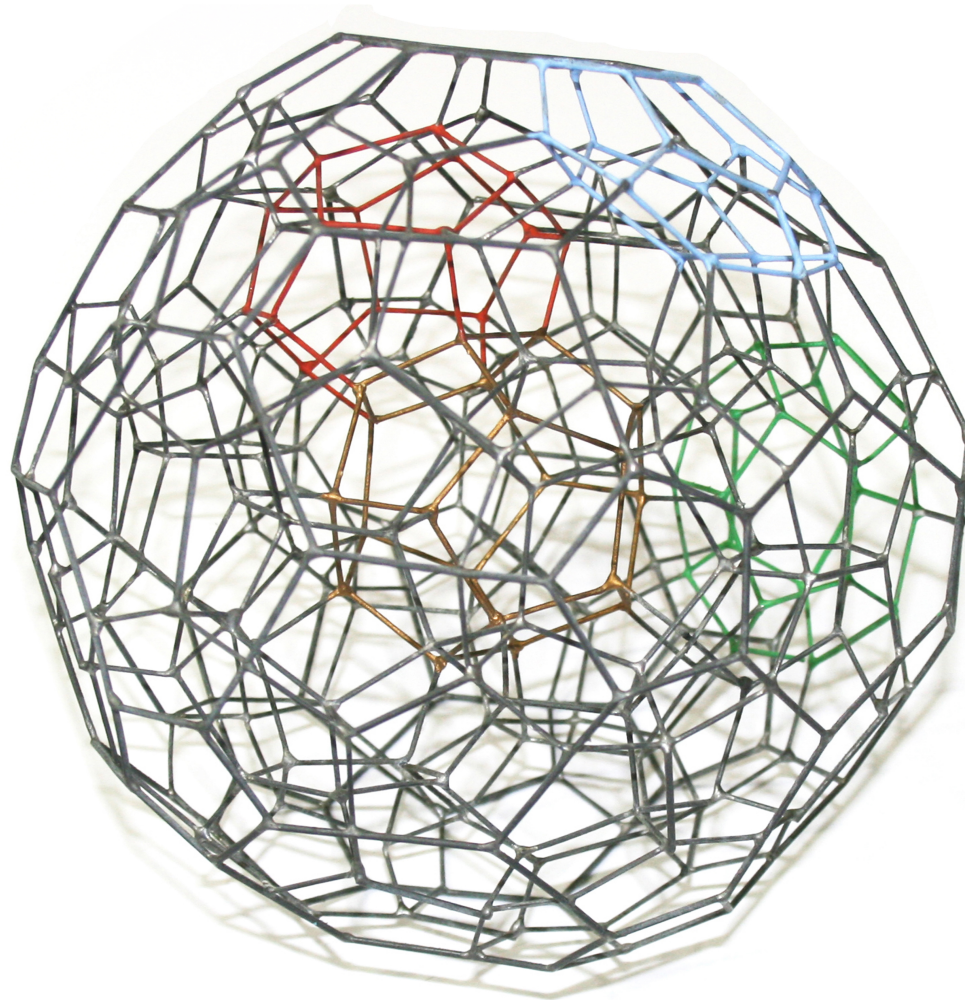
# 東大数理所蔵の正120胞体の模型



正120胞体  
{5, 3, 3}



J. Weeks, Curved Spaceによる



乙部融朗氏による正120胞体の模型

# 課題

## 1. ビデオ Dimensions

[http://faculty.ms.u-tokyo.ac.jp/~dim\\_jp/](http://faculty.ms.u-tokyo.ac.jp/~dim_jp/)

の第1章から第4章までを見る.

## 2. J. Weeksによる Curved Space

<http://geometrygames.org/CurvedSpaces/index.html.ja>

Spherical, Binary Icosahedral L を観察.

3. 縦横比が黄金比の長方形3枚に右図のように切れ込みをいれて組み合わせ正20面体の頂点を作成.

